

Dr.'s REPORT

RF SYSTEM lab.

ドクターズ・レポート | 「デジゲンNAOMI」をお使いのドクターによる、
製品やサービスに関する生レポートです。

今月のレポート医院

東京ファッションタウンビル
クリニック 様
(東京都)



デジタルならではの安定した画像品質で、 診断の信頼性が高くなりました。

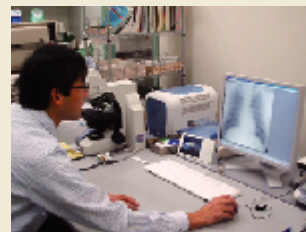
フィルムの場合、現像液を溶解してから時間が経つほど画像品質が低下します。このため、いつ溶解したのかをいつも気にかけていなければなりません。また、使用しない時ときどき現像機のふたを開けて、現像液がどれくらい変色しているかを見て交換時期を推定していました。デジタルの場合はこのような作業が一切不要で、ばらつきなく安定した品質のレントゲン画像が得られます。

状況に応じた多彩な画像処理で、 撮影意図を反映できます。

1枚のX線画像でも、見なければならない箇所はいくつもあります。デジタルなら1回の撮影で軟部組織、骨、脈管などそれぞれを最適に描写するよう画像処理を行えるので、必要な情報を効率よく得られるようになりました。パソコンモニター上で見る際は、まず全体表示で横隔膜の位置や心胸郭比などを観察した後、拡大機能を用いて肺野や縦隔の詳細を見るなど、状況に応じて自分で操作できる点がメリットです。結果として、より精度の高い画像診断が可能になったと思います。

紹介先の病院へもCDに画像をコピーして 効率よく情報を提供。

今まで、紹介先の病院へは患者さんに大きなフィルムをかかえて行ってもらうしかありませんでした。また診療後もフィルムを返却してもらわなければならない、患者さんにとっても紹介先の病院にとっても面倒な手間になっていました。デジタルなら、1枚のCDにX線画像だけでなく臨床画像などもコピーして添付できるため、よりよい診療情報を紹介先へ提供できるようになりました。



Dr.'s
REPORT



MEMO

「安定した撮影」?

薬液の温度や使用頻度など、微妙な条件の変化でも写真のできあがりには影響が出てしまうのがフィルム撮影。でも、デジゲン「NAOMI」なら、現像作業が全く必要ないことはもちろん、取得した画像データを自動で最適な画像にデジタル処理し、いつでも安定した高画質画像をお届けします。また、撮影時に照射条件が若干ずれてしまったとしても、後からお好みにあわせて付属の画像ソフトで見やすい画像に編集・調整することもできます。これもデジタルならではの特長です。

2007
01
vol.02

品質のばらつきがないので、 撮影の信頼性が高くなりました。